藤沢宿

大山詣と江ノ島詣の足場として大いに栄えた宿場。

江戸時代から時宗総本山長生山清浄光寺（通称：遊行寺）の参拝や江ノ島詣の足場として大いに栄えた宿場です。江ノ島が約1里（約四キロ）そばにあったため東海道に七十軒以上もの旅籠屋が立ち並びました。今や行楽地のイメージの強い江ノ島は、当時は庶民の弁財天参拝でも賑わい、江ノ島古道も残っています。距離も近いので歩き道してみるのもいいでしょう。

19 白旗神社
もともとは東川比古命を祭っていましたが、源義経の墓があるため、祭神となりました。7月の重祭では義経・弁慶神輿が練り歩きます。10月の源工業祭は、藤沢市の無形民俗文化財に指定されています。

8 源義経 首洗い井戸
本町交番の横道を入ると、本町公園の一角にあります。文治5年（1189年）平泉平泉寺で自害した源義経の首は、鎌越の浜で首実検されたといわれています。首は後川（年不詳）、この井戸で堀上によって、洗い清められたと伝えられています。

7 妙善寺
智場有力者の墓地が多く、その中でお陣屋を勤めた時田家の墓があります。

6 荘厳寺
寺伝では創建元亀元年（1184年）と伝えられ、藤沢宿で古い寺院の一つです。時内には相模国準四国八十八箇所のうち四国と十番の弘法大師像が安置されています。

5 常光寺
山門の脇に大正時代に建立された、本堂左手には国際的時人の野口米次郎の記念碑、裏山には井夏屋が庚申塚とともにあります。

4 小山泰堂 笑宿庵跡
江戸時代後期の知識人、小山泰堂は16歳で、藤沢の郷土史「我郷里（わがさとむさと）」を著し、また医業のかたわら発年、この庵で日蓮宗人の「南無遍文殊・日蓮大士真実伝」の労作を残しました。

3 遊行寺橋
敷川広重の浮世絵でられる藤沢宿の風景にある橋（当時、大鼓橋）が、この位置です。江ノ島道一の島居だこの写真の手前左側にあります。

2 諏訪神社
遊行寺を創建した西海上人が諏訪誘行の際に信州諏訪から勧請した鎮守の社。祭礼で演奏される西囃はやし は市指定無形民俗文化財です。

1 遊行寺
鎌倉時代後期、四代呑海（どんかい）上人が開山されて以来ずっと遊行上人が住んでいました。戦国期には焼失し江戸時代になって時宗総本山となりました。

10 真源寺
本堂右手には時宗遊行上人の無縁塔があります。また相模国準四国八十八箇所の弘法大師像が安置されています。

9 白旗神社

11 遊行寺

12 海蔵院

13 八坂神社

14 星塚八幡宮・芭蕉句碑
源頼義・義家父子が社殿を創建したと伝えられ、戸塚の総鎮守となっています。山頂の古墳を星塚と呼び、戸塚の地名の起こりの一つに数えられています。

15 浅間神社

16 浅間神社
鳥居横や拝殿には奥中坂や富士講碑があります。

17 海蔵院
墓地には歴人で有名な志行の墓があります。

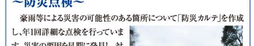
18 薄雲本陣跡
戸塚宿開設に伝がした薄雲家が勤めた本陣跡。街道に沿って、明治大屋行在所の碑が建っています。

安全・安心な道路利用のために

横浜国道事務所では、現在の国道1号・15号（一部区間を除く）をはじめとした、神奈川県内の主要な国道を管理し、皆さまの安全・安心な道路利用のために道路の維持・修繕などを行っています。

～防災点検～

豪雨等による災害の可能性のある箇所について「防災カルテ」を作成し、年1回詳細な点検を行っています。災害の要因を早期に発見し、対策の必要な箇所を速やかに補修することにより災害の発生を未然に防ぎます。


国道1号戸塚区での防災点検状況

道路緊急ダイヤル
緊急通報 #9910へ
24時間
（無料）

道路の異状を見つけたらご一報ください
1度 都 高 速
2とせ色の高速道路
3とせ目ちの自動車
高速道路・自動車専用道路
高速道路
自動車専用道路
（1桁の国道）
（2桁の国道）
（3桁の国道）
※特に高速道路については、異状緊対策室のみ、通報を、後行方向、キロポスト、高速の路線名等をご確認いただけますと助かります。また、通報内容は緊急度に応じては、道路（1・2・3）管理の対応が必要な場合、高速道路の対策などがあります。半車線規制、警察（110番）へ連絡してください。なお、高速道路は通行止めとなる。緊急性を優先し、緊急性が低い場合は、高速道路事務所へ（TEL.045-311-2981）、国道事務所へ（TEL.045-311-2981）へ連絡をお願いします。
ぜひ、ご協力、ご連絡、ご通報をお待ちしております。なお、緊急車等の安全を優先し、以って、地域活性化、観光振興に寄与し、これにより、国土文化の興隆の一助となることを目的とします。
実施機関 関東地方整備局東京外環事務所 東日本高速道路株式会社 中日本高速道路株式会社 中日本高速道路株式会社
緊急通報以外の道路相談は道の相談室へ
「道の相談室」ホームページアドレス http://www.ktr.mlit.go.jp/koryoku/mod/wcms/
●相談内容の提供について協力する機関から協力依頼があるかもしれませんのでご了承下さい。

発行・国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所
〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2 TEL045-311-2981
H24.3 (H25.11.1)

東海道四百年の歩みを踏みしめる

慶長5年（1600年）、徳川家康が東海道の駅伝馬制度を定め、街道の整備を始めてから四百年あまりの歳月が経ちました。慶長5年（1600年）には、江戸日本橋が五街道の起点となり、その後、五街道を中心に「里塚や並木などの施設が次々と整備され、東海道は日本を支える大動脈として人・物・文化の交流に大きな役割を果たしてきました。さまざまな旅を楽しみ、この道を歩き、踏みしめ、道が育んできた伝統・これからの姿を見つめましょう。

現在の道を守っています

かつての東海道は、現在国道1号や15号として、人の移動や物流を支えています。横浜国道事務所ではこれら神奈川県内の主要な国道（神奈川県内の国道延長の約4割にあたる約258km）を管理しています。道路を安全で快適に使っていただくために、日々の点検やパトロールをはじめ、道路構造物の補修・修繕、清掃作業などを行っています。

宿場マップについて

東海道には53の宿場が（神奈川県内では9宿）ありました。これらの宿場は旅の宿として繁盛し、現在もその周辺には当時の名残をとどめる史跡や名所が数多く残っています。そこで、このマップでは道中の見どころや自然、行事などを広く網羅して、歩きながら東海道の「むかしどこいな」が楽しめるように神奈川県内の9宿を中心に分けて編集しています。

なお、表示しています「ルート」は概ね江戸東海道に沿ったウォーキングルートであり、実際の距離周辺とは異なる場合があります。

江戸から約二里。最初の宿泊にちょうど切りのいい宿。

朝四時ごろに出発して、今暮れには彼に入る、約二里（約四十キロ）が一般的とされている。箱根の旅の「日目の行程。

戸塚宿は、江戸からちょうどこの十里の距離に位置することから、保土ケ谷宿（藤沢宿）間、比較的長いことと、江戸寄りの「大坂」と京寄りの「大坂」の二つの坂に挟まれていることから、ここで泊まる人が多く、大きな賑わいをみせました。さらに戸塚宿は、東海道・鎌倉往還との分岐点でもあり、大山への参拝客や鎌倉の古寺を訪れる人にも高い人気を誇っていました。

東海道の知っ得

難所「権太坂」を目前に、旅人たちがひと息入れた宿。

江戸を出て最初の難所にいわれる「急坂・権太坂」の手前にあった宿場です。当時、「権太坂」を越えつつ土ケ谷宿で休息し、英気を養ってから坂越えに挑んだといわれています。宿場としては、慶長六年（一六〇一年）に成立しましたが、東海道自体のルート変更に伴って、慶安年間（一六四八～五一年）に東へ移り、新町が形成されました。

日本人による ハム作りはしまりの地

明治初期、日本で初めてハムの製造販売がこの地で始められました。当時、戸塚は鎌倉郡に属していたので「鎌倉ハム」として全国的に知られました。唐澤清平は英国人ウィリアム・カーチスの第一加藤から協力で製法を学び、明治10年代、日本人として初めて、ハムの製造を始めました。写真のこの建物は、ハムの製造および冷蔵に使われていたものです。

益田家のモチの大木

樹齢はおよそ300年と推定され、県の天然記念物に指定されています。

東海道の知っ得

ビール坂

明治28年（1893年）に東京麦酒がこの地でビールの醸造をはじめ、後に大日本ビール会社もこの地に湧出する清水を利用してビール等を製造していたことから、名づけられました。

保土ケ谷宿のイベント情報

●保土ケ谷宿場まつり（保土ケ谷駅周辺／10月上旬）

※保土ケ谷宿場まつりは地元商店街が中心となり、開催されており、開催日時は都合により変わる場合もありますので、主催者へご確認ください。